



松蔭 校長室だより

一校長から保護者の皆様へのメッセージですー

2024年9月2日 発行

松蔭中学校・松蔭高等学校
校長 浅井 宣光

どうか、わたしの口の言葉がみ旨（むね）にかない、心の思いが御前（みまえ）に置かれますように（詩編 19：15）

新学期を迎えて

心を「言葉」にして新しい学期をスタートさせよう。2学期始業式では、パリオリンピック男子体操で三冠を成し遂げた、岡慎之助選手のインタビュー記事を引き合いに、自分の気持ちや希望、やりたいことなどを言葉にし、文字として書いてしてみよう、と話しました。岡選手は、運動能力が高く、体操のセンスもある優れた選手でしたが、「体操をやらされている」小学校、中学校時代だったそうです。しかし、大怪我による長い療養期間中に本を読むようになり、自分の気持ちを言葉にしたり、考えをメモしたりするようになりました。「言葉」を持つようになったのです。怪我が治り、練習を再開すると、自分の演技の成功の原因、失敗の理由を「言葉」で表現できるようになったと語っていました。「言葉」は彼の主体性を一層伸ばし、体操を楽しむこともできるようになり、演技の質も向上させました。今回の偉業を達成し、彼の体操人生の在り方を根本から変えたのは「言葉の力」でした。

生徒の皆さんには、周りの人から「こうしなさい」「ああしたほうがより」と言われる「言葉」ではなく、自分自信の心の「言葉」を持つこと。2学期の生活について、メモ帳に「こうしよう」「ああしたい」「自分はこうになりたい」と自分の思いを文字にしてメモすることを勧めました。「言葉を力」によって行動に責任を持ち、他者にも自分の生き方を説明できる人になってほしいと思います。

防災意識も自立をうながして

先月末、聖公会関係学校の教職員研修会が東京吉祥寺の立教女学院で開催されました。「いのち」をテーマに様々な観点からの分科会があり、私は防災の分科会に出席しました。会の冒頭、講師から「災害が起こったとき、一番にあなたの命を守ってくれる人は誰ですか？」という発問がありました。「先生かなあ」「親かなあ」等々の参加者の声に続いてスクリーンに示された回答は「自分」でした。

東日本大震災のあと、「つなみてんでんこ」のフレーズが話題になりました。「てんでんこ」の精神は、「津波が来たら取る物も取り敢えず、各自『てんでんばらばら』に一人で高台へと逃げる」「自分の命は自分で守る」という、三陸地方で繰り返されてきた津波被害から生まれた教訓です。大災害が発生したときには、子どもであっても当事者意識を持ち、自分の命を守ることを第一とすることを説きます。

先月8日の「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表の際には、かき入れ時の観光地でキャンセルが相次ぎ、海水浴場が閉鎖され、米やペットボトルの品切れなどの混乱が起きました。新学期の始業にあたり、1ランク上の「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」も想定して、緊張感をもって生徒たちを迎えたいと考えています。

始業式後の各クラスのホームルームでは、生徒が携行することになっている「大災害対応マニュアル」（下の写真）について、次の点を確認しました。生徒一人ひとりが自立して防災意識を向上させ、万一の際には当事者意識をもって行動できるようにしたいと思います。

- ① 「緊急連絡先、家族との集合場所」の確認（記入）と家族への安否連絡の仕方（災害伝言ダイヤル「171」の利用法）など。
- ② 学校HP[緊急・災害時情報入力フォーム]（HP上の場所は後掲）への入力。
自分の判断で入力し、安否情報や家族の状況を学校に伝える意識を持つこと。

南海トラフ地震への態勢

最後に、南海トラフ巨大地震が発生した場合の、学校側態勢について概要をお知らせします。



「大災害対応マニュアル」

神戸市内の想定最大震度は、震度6強です。地震に対する学校対応としては、神戸市に「震度5弱」以上の地震が発生した場合、「臨時休校」の措置をとります。生徒が在学中の場合、ミマモルメで連絡し、学校までお出迎えをお願いすることになっています。保護者の方の出迎えがあるまでは、生徒を学校でお預かりします。校内に非常食、飲料水（災害ベンター自販機を含む）、災害用トイレ資材、生理用品などの災害対策物資を備蓄しています。

教職員の動きとしては、発災後10日間を目処に生徒・教職員安否と情報収集を担当するチームや家庭訪問を担当するチームなど分野ごとの「1次対応チーム」が活動を開始します。余震が落ち着いた後、学校再開の準備にあたるチームや家庭の被災状況に応じた生徒支援を実施するチームなど「2次対応チーム」がそれぞれ動く段取りです。ご家庭でも、居住地域に適切な防災、減災につきまして、ご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

☆学校HP[緊急・災害時情報入力フォーム] トップページのいちばん下にあります。小さい文字です。保護者の皆様も一度ご確認ください。

The screenshot shows the school's homepage with a navigation menu at the top and a grid of content below. A callout box points to the '緊急・災害時情報入力フォーム' link in the footer. The footer also includes social media icons and contact information.

保護者「おしゃべり会」

第2回を10月15日（火）10：30～（中間考査期間）の予定です。後日、ご案内をclassi配信します。

「夏期講習」点描



理科「カエルの解剖」(中 2DS)

英語(高 ILS)

英語(中 3DS)

先生方も「探究」研修中